

# 新大和川と 石川の治水絵図

若狭野浅野家の  
流域図を見る

2023.10.14(土)  
» 12.3(日)



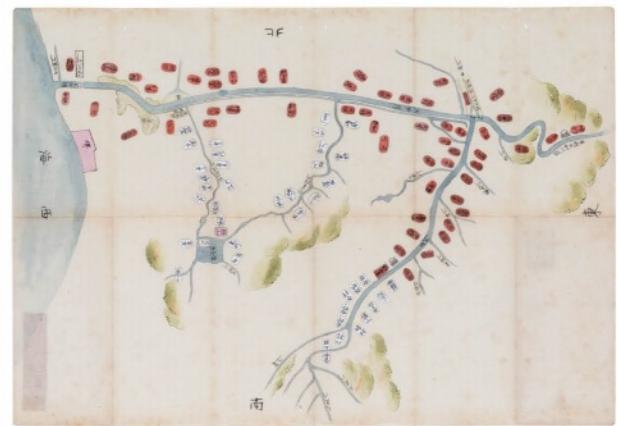
治水灌漑の土木遺産を継承する  
大阪府立狭山池博物館  
OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM



江戸時代、堺奉行を勤めた  
若狭野浅野家に伝わる  
「新大和川・石川流域図」には  
大和川付け替え後の  
流域の治水施設の全容が描かれていた

若狭野浅野家は、忠臣蔵で知られる赤穂藩浅野家の分家である。若狭野浅野家が堺奉行を勤めていた江戸時代中頃に製作された「大和川・石川流域図」が近年発見された。近世の大和川と石川の流域の詳細が、延べ 11m もの絵図に描かれている。情報量が極めて豊富で、付け替え後の大和川や石川流域の治水施設の全容を知ることのできる貴重な史料であるにも関わらず、公開されたことは少ない。あわせて堺市博物館蔵「大和川筋図巻」も展示し、江戸時代の治水体系の内容や変化を紹介する。

さらに現地調査によって、描かれた霞堤が、現在の道路にその形をたどることができ、河川敷に江戸時代の堤が現存することも確認された。その成果を今回初めて公開する。



堺奉行の管轄地を示す堺町絵図（手鑑式冊之内絵図）/ 龍野歴史文化資料館（兵庫県）

## 展示構成

- I 若狭浅野家と「新大和川・石川流域図」
- II 「石川流域図」と霞堤
- III 「新大和川流域図」
- IV 堀市博物館蔵「大和川筋図巻」

## 主な展示品

- 新大和川・石川流域図 / 龍野歴史文化資料館（兵庫県）
- 堺町絵図（手鑑式冊之内絵図）/ 同上
- 大和川筋図巻 / 堀市博物館

## 歴史セミナー

第1回 令和5年10月21日(土) 石川流域図に描く近世治水

山田 隆一（当館学芸員）

第2回 令和5年10月29日(日) 新大和川を描いた二つの絵巻  
－川筋絵巻を読む－

矢内 一磨 氏（堀市博物館）

第3回 令和5年11月18日(土) 信玄伝承の治水施設の最新調査成果  
－石積出・将棋頭・信玄堤－

斎藤 秀樹 氏（南アルプス市教育委員会）

第4回 令和5年11月25日(土) 近世治水灌漑施設の成立と東アジア海域の類例 小山田 宏一（本館館長）

とき 14時～15時30分(13時30分開場) 定員 126名(先着順)

## 展示解説

とき 10/14(土)・10/28(土)・11/4(土)・11/11(土)・12/2(土) 各日とも午後1時から開催

集合 特別展示室前

主催 / 大阪府立狭山池博物館 大阪狭山市立郷土資料館

後援 / 南海電気鉄道株式会社 泉北高速鉄道株式会社



◎所在地 / 〒589-0007 大阪狭山市池尻中2丁目 ◎TEL / 072-367-8891 ◎FAX / 072-367-8892  
◎開館時間 / 10:00～17:00(入館は16:30まで) ◎月曜休館(月曜が、祝休日の場合は翌日)  
◎ホームページ / <http://www.sayamaikaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>  
◎アクセス / 南海電鉄難波駅より高野線にて大阪狭山市駅下車、西へ約700m。

